

腸内細菌検査

腸内細菌（便）検査は、一見健康にみえながら体内に病原体を保有している「健康保菌者」を、早期に発見することができます。気づかずに業務等を行い、食中毒事故へつながることを未然に防ぐため、大切な検査です。

弊社では、**赤痢菌・サルモネラ菌・O157**を中心として、各種腸内細菌の検査を行っております。

正しい採取の手順

(1)
ラベルに
氏名・御所属名等を
記入し、
容器に貼って
ください。



(2)
キャップを
ゆっくり引き
抜いて
開けます。



(3)
便の表面に採便スティックの先端を
**2、3回刺し（又は表面にこすり
つけて）**、先端の部分に便が埋まる
程度**（あずき大）**採ります。

※軟便のときも同様に、必ず
穴の部分に便を入れてください。

※目視で確認出来ない量の場合、
検査結果をお出し出来ないことが
あります。



(4) キャップを「パチン」と音がするまで押し込んで、しっかりと閉めます。

- 当日の便が最も適していますが、なかなか採れない場合や都合の悪い場合は、検査日直前の採取をお願いします。
- 採便スティックを直接肛門に挿入し、採取しないで下さい。
(十分な量が採れません。体内に傷をつける恐れもあります。)
- 直射日光に当てず、なるべく涼しい場所で保存して下さい。
- ノロウィルスの検査は全く別のものになり、腸内細菌の容器では検査出来ません。
- ◆ 検査項目や回収については、お気軽にお問い合わせ下さい。

株式
会社

九州保健ラボラトリー
Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoh.co.jp/>